ポインティング デバイスおよびキーボード
ユーザー ガイド

初版：2009 年 4 月

製品番号：516607-291

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターで対応していない場合もあります。

目次

1　ポインティング デバイスの使用

名称		説明
(1)	タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(4)	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します

*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[マウス]**の順に選択します。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[マウス]**の順に選択します。

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： ポインターの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすのみでは、スクロール機能はアクティブになりません。

外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピューターに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品のコネクタを使用してシステムに接続することもできます。

2 キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（1）と、esc キー（2）またはファンクション キーのどれか（3）の組み合わせです。

f1 ～ f9、f11、および f12 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表します。ホットキーの機能および操作についてこの章の各項目で説明します。

注記： お使いのコンピューターの外観は、図と多少異なる場合があります。また、以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。

機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn ＋ esc
[ヘルプとサポート]を表示する	fn ＋ f1
[印刷オプション]ウィンドウを開く	fn ＋ f2
Web ブラウザーを開く	fn ＋ f3
コンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイの画面を切り替える	fn ＋ f4
スリープを開始する	fn ＋ f5
[QuickLock]を開始する	fn ＋ f6
画面の輝度を下げる	fn ＋ f7

機能	ホットキー
画面の輝度を上げる	fn + f8
スピーカーの音を消す（ミュート）	fn + f9
スピーカーの音量を下げる	fn + f11
スピーカーの音量を上げる	fn + f12

ホットキー コマンドをコンピューターのキーボードで使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながらホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押した後、両方のキーを同時に離します。

システム情報を表示する（fn + esc）

fn + esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn + esc を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS の日付として表示されます。一部の機種では、BIOS の日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

[ヘルプとサポート]を表示する（fn + f1）

[ヘルプとサポート]を表示するには、fn + f1 を押します。

[ヘルプとサポート]では、Windows オペレーティング システムに関する情報以外に、以下の情報およびツールも利用できます。

- お使いのコンピューターに関する情報（モデルとシリアル番号、インストールされているソフトウェア、ハードウェア コンポーネント、仕様など）
- コンピューターの使用方法に関する質問への回答
- コンピューターの使用方法および Windows の機能について学ぶことができるチュートリアル
- Windows オペレーティング システム、ドライバー、およびコンピューターに提供されているソフトウェアの更新
- コンピューター機能の確認
- 対話形式による自動的なトラブルの解決方法、修復方法、およびシステムの復元手順
- HP のサポートサイトへのリンク

[印刷オプション]ウィンドウを開く（fn + f2）

アクティブな Windows アプリケーションの[印刷オプション]ウィンドウを開くには、fn + f2 を押します。

Web ブラウザーを開く（fn + f3）

Web ブラウザーを開くには、fn + f3 を押します。

インターネットまたはネットワーク サービスを設定するまで、fn + f3 ホットキーを使用すると Windows のインターネット接続ウィザードが表示されます。

インターネットまたはネットワーク サービスおよび Web ブラウザーのホーム ページを設定した後で、ホーム ページおよびインターネットにすばやく接続するには fn + f3 を押します。

画面を切り替える（fn + f4）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn + f4 を押します。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、fn + f4 を押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。fn + f4 ホットキーでは、コンピューターからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn + f4 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピューター本体のディスプレイ）
- 外付け VGA（ほとんどの外付けモニター）
- HDMI（HDMI コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）

スリープを開始する（fn + f5）

△ 注意： データの損失を防ぐため、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください。

スリープを開始するには、fn + f5 キーを押します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピューターがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始する前に、コンピューターの電源がオンになっている必要があります。

注記： コンピューターがスリープ状態のときに完全なロー バッテリ状態になった場合、コンピューターはハイバネーションを開始して、メモリ内の情報をハードドライブに保存します。完全なロー バッテリ状態になった場合、出荷時設定ではハイバネーションを開始しますが、この設定は Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。

スリープ状態を終了するには、電源ボタンを短く押します。

fn + f5 ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように fn + f5 ホットキーを設定することもできます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「**スリープ ボタン**」に関する記述はすべて、fn + f5 ホットキーに当てはまります。

[QuickLock]を開始する（fn ＋ f6）

[QuickLock]セキュリティ機能を開始するには、fn ＋ f6 を押します。

[QuickLock]はオペレーティング システムの[ログオン]ウィンドウを表示して、情報を保護します。[ログオン]ウィンドウが表示されているときには、Windows のユーザー パスワードまたは Windows の管理者パスワードが入力されるまでコンピューターに接続できません。

注記： [QuickLock]を使用する前に、Windows のユーザー パスワード、または Windows の管理者パスワードを設定する必要があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

[QuickLock]を使用するには、fn ＋ f6 を押して[ログオン]ウィンドウを表示し、コンピューターをロックします。次に、画面の説明に沿って Windows のユーザー パスワードまたは Windows の管理者パスワードを入力し、コンピューターにアクセスします。

画面の輝度を下げる（fn ＋ f7）

fn ＋ f7 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる（fn ＋ f8）

fn ＋ f8 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

スピーカーの音を消す（ミュート）（fn ＋ f9）

fn ＋ f9 を押してスピーカーの音を消します。スピーカーの音量を元に戻すには、もう一度ホットキーを押します。

スピーカーの音量を下げる（fn ＋ f11）

fn ＋ f11 を押してスピーカーの音量を下げます。このホットキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります。

スピーカーの音量を上げる（fn ＋ f12）

fn ＋ f12 を押してスピーカーの音量を上げます。このホットキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります。

3 [HP QuickLook 2]の使用

[HP QuickLook 2]を使用すると、オペレーティング システムを起動しなくても、[Microsoft® Outlook]の電子メール、予定表、連絡先、および仕事の情報を表示できます。[HP QuickLook 2]を設定すると、コンピューターの電源が切れているとき、またはハイバネーション状態のときに[Info Center/QuickLook]ボタンを押すことによって重要な情報に簡単にアクセスできます。

[HP QuickLook 2]の設定

1. [Microsoft® Outlook]を開きます。

   [HP QuickLook 2]から、[Microsoft Outlook]のツールバーに以下の 2 つのアイコンが表示されます。

   [QuickLook 2 Preferences]（QuickLook 2 の設定）アイコンでは、自動データ収集の設定を行えます。

   [QuickLook Capture]（QuickLook への取り込み）アイコンでは、自動取得に加え、[HP QuickLook 2]の情報取り込みを手動で開始できます。

   注記： 大半のタスクでは、[QuickLook 2 Preferences]アイコンを使用します。

2. [Microsoft Outlook]のツールバーにある**[QuickLook 2 Preferences]**アイコンをクリックします。

   [QuickLook 2 Preferences]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. 以下の設定を行います。

   - [HP QuickLook 2]が[Microsoft Outlook]から情報を取り込み、ハードドライブ上に保存するタイミング
   - 予定表、連絡先、電子メール、仕事に表示するデータの種類

4. 必要に応じてセキュリティを選択して、個人識別番号（PIN）を設定します。

手動での情報収集

事前に設定された間隔で情報収集を行うように[HP QuickLook 2]を設定済みであっても、[Microsoft Outlook]プログラムの使用中にはいつでも[Microsoft Outlook]の情報を手動で収集することができます。

[QuickLook 2]の使用

以下の表で示されているとおり、[Info Center/QuickLook]ボタンの動作はコンピューターの電源の状態によって異なります。

電源の状態	[Info Center/QuickLook]ボタンの動作
オフ	[HP QuickLook 2]が起動します
ハイバネーション	[HP QuickLook 2]が起動します
オン	[Info Center]（インフォ センター）が起動します
スリープ	動作しません

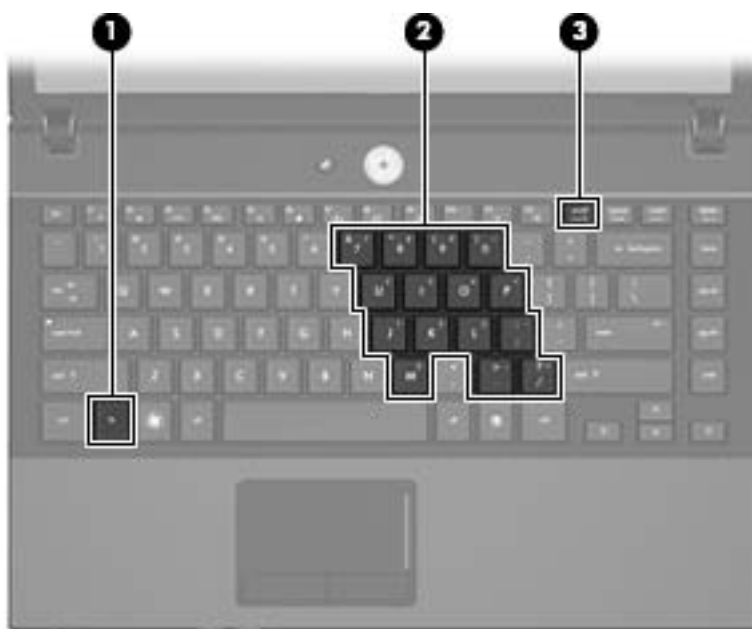
注記： [HP QuickLook 2]は、出荷時の設定で有効になっています。システム BIOS で[HP QuickLook 2]を無効にした場合、コンピューターの電源がオンになっているときに[Info Center/QuickLook]ボタンを押すと[Info Center]が開きます。コンピューターの電源がオフ、ハイバネーション、またはスリープのときは、[Info Center/QuickLook]ボタンを押しても何も起こりません。

詳細情報

[HP QuickLook 2]の設定および使用方法について詳しくは、[HP QuickLook 2]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

4 テンキーの使用

注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

以下の図および表に示されるコンピューターには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

	名称	説明
(1)	fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(2)	内蔵テンキー	fn キーおよび num lk キーと一緒に押すと、外付けテンキーと同様に使用できます
(3)	num lk キー	内蔵テンキーのナビゲーション機能と数字入力機能が切り替わります 注記： テンキー機能がコンピューターの電源を切ったときに有効だった場合は、次回コンピューターの電源を入れたときにも有効になっています

以下の図および表に示されるコンピューターには、テンキーが内蔵されています。また、別売のテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

	名称	説明
(1)	num lk キー	内蔵テンキーのナビゲーション機能と数字入力機能が切り替わります 注記：　テンキー機能がコンピューターの電源を切ったときに有効だった場合は、次回コンピューターの電源を入れたときにも有効になっています
(2)	内蔵テンキー	外付けテンキーと同様に使用できます

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn ＋ num lk キーを押します。fn ＋ num lk キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記： 外付けキーボードまたはテンキーがコンピューターまたは別売のドッキング デバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使用して、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、fn キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押したまま文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押したまま文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピューターの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピューターの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピューターではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

5　タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗います。

⚠ **警告！**　感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使ってキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

索引